

府立農芸高校との連携

農業農村アプレンティスシップ プログラムの取組について

ナナップ
(略称:NNAP)

※77° レンティスシップ: 「徒弟制度」のこと、中世ヨーロッパの職人組合「ギルド」で用いられていた職人養成制度。
農芸高校の生徒をいわば弟子と見立て、改良区の役員や府の現地職員が親方役として、現場の技を伝えます。

課題設定

農業生産と生活の場が一体である農村は、様々な土地改良施設によってつくられています。その中で急速な高齢化と土地改良施設の老朽化は、農業生産の継続だけでなく農村地域の維持も困難にします。

これに対応するためには、今後の農村地域を担う人材として、農村社会基盤の保全を担える技術力や地域貢献の意欲を持った人材の育成が必要です。

何をするのか

府立農芸高校と南丹広域振興局が連携し、農芸高校の環境緑地科・農業土木コースの生徒を対象に、産・学・公・地域が一体となって、南丹管内の実際の土地改良の工事、施設管理、設計・施工方法、地域が感じる大変さ、やりがいを「伝授」します。

目指すもの

高校生が現地・現場に出て行って、地域の土地改良区や農家、施工業者や現場職員に、教室では学べない実際の農業・農村の現場を体験し、設計や施工の技術、現場に応じた工夫などを学びます。農地や水路、農道、ため池、頭首工など様々な土地改良施設の役割や管理方法を知ること、

- ①高校生が農業土木へ興味を持って学びきっかけづくり。
- ②農業土木という専門分野を通じて、自分たちの地域を再発見し、活躍する場を見つける。

一方で、地域と高校生が交流することで、地域自らが農地や土地改良施設の大切さを見直し、農業に従事し、地域のためにがんばる人たちの後押しをすることとなり、さらに、高校生は農村地域を自分たちで育て元気にするためには何をすれば良いか考えるきっかけづくりとなります。この取り組みを通じ、今後も農業・農村を守り続けるために必要な土地改良施設を良好に保全するための技術力を持った人づくりを目指します。

平成26年度の取組



蓼島頭首工運転状況の見学

土地改良区職員から上桂川用水の水利システムの説明



平成27年度の取組



CADシステムで設計製図実習



国営亀岡地区（幹線用水分水工）

平成28年度の取組



平和池水害特別講義



生きもの引っ越し現地実習

平成29年度の取組



暗渠排水 清掃実習



模型実験

南丹広域振興局 農林商工部 地域づくり推進室